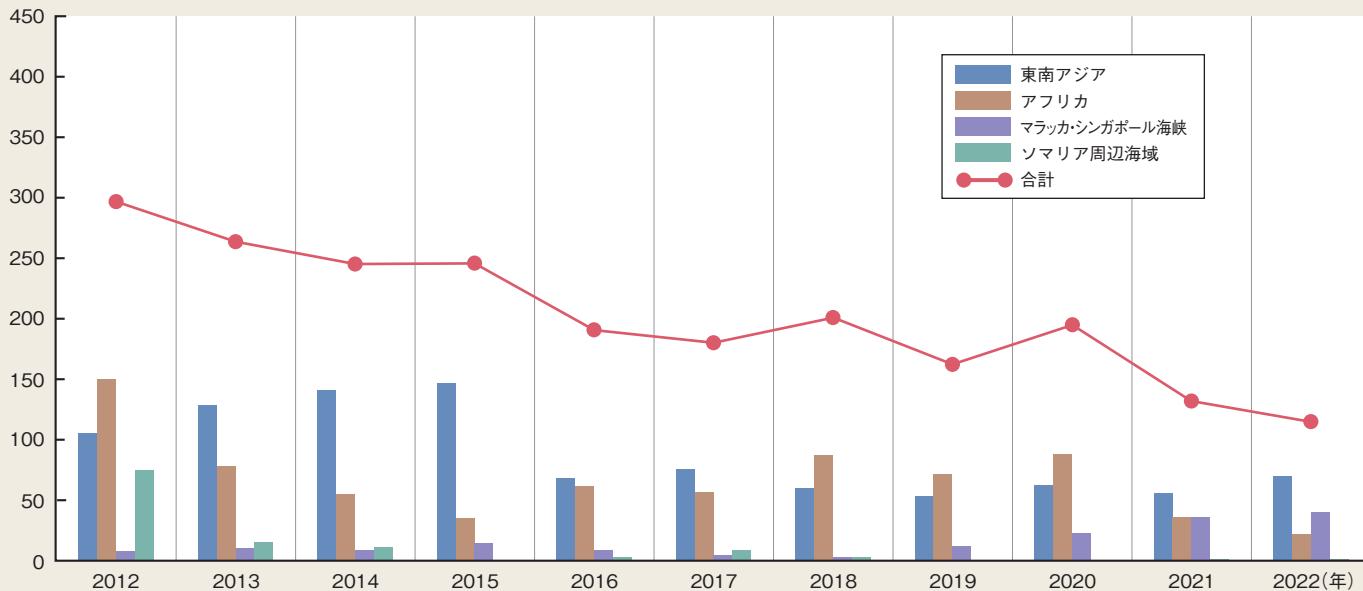


1 最近の海賊等事案の発生状況

ソマリア周辺海域では、わが国の自衛隊派遣を含む各国共同の海賊対策の結果、海賊事案が減少しているものの、東南アジアや西アフリカ等世界各地で、海賊の脅威が依然存在する。

(件数)

出典：国際海事局(IMB)、国土交通省海事局



	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
東南アジア	104	128	141	147	68	76	60	53	62	56	70
アフリカ	150	79	55	35	62	57	87	71	88	36	21
マラッカ・シンガポール海峡	8	10	9	14	9	4	3	12	23	36	38
ソマリア周辺海域	75	15	11	0	2	9	3	0	0	1	0
合計	297	264	245	246	191	180	201	162	195	132	115
日本関係船舶	5	9	9	16	10	3	5	4	2	3	3

(注) ①数字は全船舶数(国際海事局・IMBの資料による)で、日本関係船舶(日本籍の外航船舶及び日本の船会社の運航する外国籍船)の件数(国土交通省の調査による)

②マ・シ海峡及びソマリア周辺海域の件数はそれぞれ東南アジア、アフリカの内数である。

2 海賊等事案の発生場所

世界全体で、2022年は115件の海賊及び武装強盗が報告された。東南アジアでは、70件が報告され、前年の56件から増加している。日本関係船舶の被害は、3件報告されている。

